

## 高島市 歴史散歩

No.3

### 高島市を通る街道と道標

近江国（滋賀県）は、よく「交通の要衝」と称されます。その理由の一つには、近江国が地理的に東日本と西日本の接点に位置し、古くから日本の幹線道が通り、それを結ぶ主要街道や間道が多く発達したことがあげられます。

特に江戸時代には、近江国内を東海道・中山道・北国海道・杉街道・御代参街道・八風街道・朝鮮人街道・北国街道・北国脇往還・若狭街道などの各街道が通り、多くの人や物資や情報が行き交うようになりました。



南市の石敢當



保坂の道標

には、江戸時代後期ころ、多くの道標が建てられました。道標とは、道の分岐点や曲がり角に建てられた石柱で、これには行き先とその方向、距離などが刻まれています。高島市内でも、北国海道や若狭街道の曲がり角などに、江戸時代に建てられたいくつかの道標を見ることが出来ます。

安曇川町田中の南市の交差点には、天保13年（1842）に北国海道と間道の接点に建てられたと思われる道標があります。この道標には、表面に「石敢當」、「すく 京 大津道」「すく 北国海道」と刻まれています。「石敢當」とは中国伝来の民間信仰で、魔よけの意味とされるものです。石碑にこの文字が刻まれる例は、九州南部や沖縄でよく見られますが、滋賀県内では、唯一のものと思われる。



高島市

また今津町保坂の若狭街道の分岐点に建つ道標は、安永4年（1775）の建立で、行き先は「京道」「わかさ道」「しゅんれいみち」の3方向を示しています。「しゅんれいみち」とは西国33カ所観音霊場の巡礼道のことです。ここでは、第30番札所である竹生島の宝蔵寺へ向かう道を案内しています。高島市内には、このほかにも藤樹書院や近藤重蔵の墓の場所を示した道標なども残されています。みなさんも街道を歩く機会があるときは、ぜひ道端の道標を探してみてください。（文化財課）



退任式で職員より花束を受け取る玉垣市長職務執行者。

編集後記



2月14日(月)、初代高島市長となった海東英和市長が初登庁し、市役所玄関で職員に迎えられました。『水と緑 人のいきかう 高島市』の実現に向けて、新市の舵取りに期待がかかります。

3月号 平成17年



CONTENTS 目次
市長に聞く! 2・3
タウンピックス 4~7
まちネタ写真館 8・9
そうだ、図書館に行こう♪ 10・11
健康生活してますか? 12・13
みんなの子育て応援します! 14・15
情報お知らせ版 16~24
3月の行事カレンダー 26・27



Home Page Address http://www.city.takashima.shiga.jp
Mail Address t-info@city.takashima.shiga.jp

発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新堀町北町565番地 ☎0740-581-30
高島市ホームページ http://www.city.takashima.shiga.jp
高島市メールボックス t-info@city.takashima.shiga.jp

